

## Ⅱ テクノ科

### 基礎講座

#### 1 営農総合コース

| 開講時期  | 対象者   | 定員  | 講座内容   | 受講料     |
|---|---|-----|--|---------|
| H28年4月<br>～<br>H29年3月<br>週1回<br>火曜日<br>全30回 | ①～④のすべてを満たす人<br>①県内在住か県内移住予定の人<br>②耕作可能な農地が十分ある人<br>③既に就農しているか、または就農を予定している人<br>④営農や農業技術を高めたい人<br><br>または、おおむね50才未満で Iターン・Uターン等の帰農者 | 35名 | 野菜・果樹栽培、土壌肥料、病虫害、経営、県の施策など幅広く学ぶ講義と野菜栽培中心の実習、県内先進農家や研究所の調査研修など<br><br>午前(9:30～12:00):講義<br>午後(13:00～15:30):実習 | 18,300円 |

#### ●受講申込み方法

綴じ込み又はホームページ上(<http://www.tonodai.ac.jp/>)の受講申込書にご記入のうえ、平成28年2月24日(水)(当日消印有効)までに、農大まで封書で郵送してください。

書類選考と面接により受講者を決定します。

#### ●注意点

受講料とは別に、教科書代、傷害保険料が必要です。

#### 2 営農基礎コース

| クラス名 | 開講時期                                       | 対象者  | 定員  | 講座内容   | 受講料    |
|------|--|--|-----|--|--------|
| 春 夏  | H28年4月～8月<br>週1回<br>水曜又は木曜<br>全15回         | ①～④をすべて満たす人<br>①県内在住か県内移住予定の人<br>②耕作可能な農地がある人<br>③農業をしている人、就農を予定している人<br>④農業に関心があり基礎的な農業技術を学びたい人 | 50名 | 野菜・果樹栽培、土壌肥料、病虫害など基礎を学ぶ講義と野菜栽培を中心とした実習、研究所の調査研修など。                     | 9,150円 |
| 秋 冬  | H28年9月～<br>H29年3月<br>週1回<br>水曜又は木曜<br>全15回 | または、<br>農業参入を考えている企業の従業員の方も受講できます。   | 50名 | 午前(9:30～12:00):講義<br>午後(13:00～15:30):実習<br><br>水曜又は木曜どちらかに決めて受講いただきます。 |        |

#### ●受講申込み方法

綴じ込み又はホームページ上(<http://www.tonodai.ac.jp/>)の受講申込書にご記入のうえ、春夏クラスは平成28年2月24日(水)(当日消印有効)までに、秋冬クラスは平成28年6月6日(月)から7月27日(水)(当日消印有効)までに、農大まで封書で郵送してください。

書類選考により受講者を決定します。必要に応じて面接する場合有り。

#### ●注意点

- ・春夏・秋冬クラスとも講義の内容は同じです。
- ・受講料とは別に、教科書代、傷害保険料が必要です。

#### 3 農業機械安全使用者養成講座

| クラス名      | 開講時期   | 対象者  | 定員         | 講座内容  | 受講料    |
|-----------|--|--|------------|---|--------|
| 夏期<br>クラス | 講義・演習<br>5/18～20<br>大特実習<br>5/24～5/31<br>大特検定6/1<br>免許交付6/2  | ①県内在住の認定帰農者、認定就農者、認定農業者、集落営農法人従事者等<br>②ファームサービス事業体従事者等で、農業機械の安全使用について学びたい人 | 大特<br>25名  | 農業機械の安全使用に関する講義と演習(3日間)<br>大型特殊免許(農耕用限定)取得のための実習(6日間)<br>計9日間                         | 4,290円 |
|           |  |  |            | 農業機械の安全使用に関する講義と演習のみ受講(3日間)   | 1,830円 |
| 秋期<br>クラス | 講義・演習<br>9/13～15<br>大特実習<br>9/16～27<br>けん引実習<br>10/3～11<br>大特検定9/28<br>免許交付9/29<br>けん引検定10/12<br>免許交付10/13 |  | 大特<br>25名  | 農業機械の安全使用に関する講義と演習(3日間)<br>大型特殊免許(農耕用限定)取得のための実習(6日間)もしくはけん引(農耕用限定)取得のための実習(6日間) 計9日間 | 4,290円 |
|           |  |  |            | 農業機械の安全使用に関する講義と演習のみ受講(3日間)   | 1,830円 |
|           |  |  | けん引<br>10名 | けん引(農耕用限定)取得のための実習のみ受講(6日間)<br>※平成22年度以降に本講座を受講し、大特免許を取得した者                           | 2,460円 |

\*開講時期は免許試験実施の都合により変更となる場合があります。

\*上記の日程は検定日を含みません。

#### ●受講申込み方法

綴じ込み又はホームページ上(<http://www.tonodai.ac.jp/>)の受講申込書にご記入の上、夏期クラスは平成28年4月11日(月)から4月22日(金)(当日消印有効)までに、秋期クラスは平成28年7月25日(月)から8月5日(金)までに、農大まで封書で郵送してください。

書類選考または面接により受講者を決定します。

### ●注意点

- 1 「免許取得のための実習」は、「安全使用に関する講義と演習」を受講した人のみ対象とします。
- 2 大特免許の検定は、夏期、秋期各クラスの「免許取得のための実習」の後に実施します。  
夏期クラス:検定6月1日(水)、免許交付6月2日(木) 秋期クラス:検定9月28日(水)、免許交付9月29日(木)
- 3 けん引免許の検定は、秋期クラスの「免許取得のための実習」の後に実施します(年1回実施)。  
けん引:検定10月12日(水)、免許交付10月13日(木)。けん引免許取得希望者の「安全使用に関する講義と演習」は、夏期、秋期いずれかに受講することになりますので、申込時に選択してください。  
ただし、平成22年度以降に本講座を受講された方は、講義と演習(3日間)は免除されます。
- 4 大特免許の取得には、普通自動車運転免許が必要です。
- 5 免許取得を目指す場合は、受講料の他に、運転免許検定料、傷害保険料が必要です。
- 6 認定帰農者、認定就農者、認定農業者の方は、認定証の写しを受講申込書と一緒に提出してください。  
ただし、講義と演習(3日間)のみ受講希望の方は、これらの提出は不要です。

## 4 農業学びネット(通信講座)

| 開講時期                  | 対 象 者                             | 定員  | 講 座 内 容  | 受講料                             |
|-----------------------|-----------------------------------|-----|--|---------------------------------|
| H28年6月<br>～<br>H29年2月 | 県内で農業を始めたい人、または県内で既に就農している人のうち初心者 | 20名 | 農業に関する基礎知識と果樹・野菜栽培の基本技術についてインターネットとテキストを通じて指導。 | 無料<br>*テキスト代(4,000円程度)等の実費は自己負担 |

### ●受講申込み方法

農業大学校ホームページ(<http://www.tonodai.ac.jp/>)内の「農業学びネット」をご覧ください。  
申し込み受付は平成28年5月9日(月)から始め、申し込み順に選考を行い、定員に達し次第締め切ります。

## 5 地域あぐりコース

| 開講時期                   | 対 象 者  | 講 座 内 容  | 受講料 |
|------------------------|--|--|-----|
| H28年5月<br>～ H29年<br>3月 | ①県内で就農している、または就農を予定しており、農業技術等を高めたい人<br>②県内で農産物加工技術を高めたい人 | 地域の農業支援センターを通じて、先進農家で5日間程度の実地研修を行う。<br>*就農に関心のある農業未経験者を対象とした「農業入門コース」は1日程度 | 無料  |

### ●受講申込み方法

随時募集を行っていますので、綴じ込みの受講申込書にご記入のうえ、県庁経営推進課に郵送またはFAXで申し込んでください。  
書類選考により受講者を決定します。

経営推進課 〒770-8570 徳島市万代町1-1 電話(088)621-2427 FAX(088)621-2858

### ●各地域における研修受入可能品目

| 地域あぐりシステム名称<br>(支援センター名)    | 管轄市町村                                    | 研修品目*   |
|-----------------------------|--|---|
| 徳島地域あぐり<br>(徳島農業支援センター)     | 徳島市、小松島市<br>勝浦町、上勝町<br>佐那河内村、石井町、<br>神山町 | ほうれんそう、かんしょ(砂地畑)<br>すだち、温州みかん、水稲、ブロッコリー   |
| 鳴門藍住地域あぐり<br>(鳴門藍住農業支援センター) | 鳴門市、松茂町、北<br>島町、藍住町、板野<br>町、上板町          | 洋にんじん、かんしょ(砂地畑)<br>だいこん、なし  |
| 阿南地域あぐり<br>(阿南農業支援センター)     | 阿南市、那賀町                                  | たけのこ、いちご、ゆず、すだち(露地)、<br>なのはな、ブロッコリー、オクラ、ケイトウ、オモト                                      |
| 美波地域あぐり<br>(美波農業支援センター)     | 美波町、牟岐町<br>海陽町                           | 施設キュウリ、洋にんじん、細ねぎ<br>ブロッコリー、なのはな、ほうれん<br>そう(雨よけ)、施設ギク、施設パ<br>ラ、養鶏                      |
| 吉野川地域あぐり<br>(吉野川農業支援センター)   | 吉野川市、阿波市                                 | 促成なす、いちご、促成ミニトマト、<br>レタス、ぶどう  |
| 美馬地域あぐり<br>(美馬農業支援センター)     | 美馬市、つるぎ町                                 | 洋にんじん、ブロッコリー、レタス、<br>たらのめ、ぶどう   |
| 三好地域あぐり<br>(三好農業支援センター)     | 三好市、東みよし町                                | 夏秋いちご、夏秋なす、トマト(夏秋)、<br>ミニトマト(夏秋)、葉菜類<br>(こまつな、しゅんぎく、ほうれん<br>そう等)、たらのめ、水稲、茶、花<br>苗、肥育牛 |

\*アンダーラインの入った研修品目は「農業入門コース」の受け入れが可能なもの

\*研修品目は変更する場合あり

詳細については、経営推進課ホームページをご覧ください。  
ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/docs/2010031800034/>

## 応用講座

### 1 認定就農者支援コース

| 開講時期              | 対象者            | 定員  | 講座内容  | 受講料          |
|-------------------|----------------|-----|---|--------------|
| H28年4月～<br>H29年3月 | 認定帰農者<br>認定就農者 | 10名 | 「帰農計画」、「就農計画」、及び「青年等就農計画」に基づいた農業の基本技術についての講義と実習<br>受講期間、受講回数は個別対応 | 1日当り<br>610円 |

#### ●受講申込み方法

綴じ込み又はホームページ上 (<http://www.tonodai.ac.jp/>) の受講申込書にご記入のうえ、  
第1回募集クラスは平成28年2月24日(水)(当日消印有効)までに、  
第2回募集クラスは平成28年6月6日(月)から7月27日(水)(当日消印有効)までに、農大まで封書で郵送してください。  
書類選考と面接により受講者を決定します。

#### ●注意点

認定を受けた計画の写しを受講申込書と一緒に提出してください。

### 2 専門技術コース

| クラス名          | 開講時期                            | 対象者   | 定員  | 講座内容   | 受講料          |
|---------------|---------------------------------|---|-----|--|--------------|
| 野菜<br>花<br>果樹 | H28年4月～H29年3月<br>受講期間、受講回数は個別対応 | 次のすべてを満たす人<br>①県内において農業に従事しているか、今後従事する人<br>②農業に関する相当の知識を有する人<br>③18歳以上50歳以下の人 | 若干名 | 農林水産総合技術支援センター農産園芸研究課で野菜・花・果樹について実習中心の研修を行う。 | 1日当り<br>610円 |

#### ●受講申込み方法

綴じ込み又はホームページ上 (<http://www.tonodai.ac.jp/>) の受講申込書にご記入のうえ、平成28年2月24日(水)(当日消印有効)までに、農大まで封書で郵送してください。書類選考と面接により受講者を決定します。

### 3 農産加工マイスター講座

対象者：農産物の加工品づくりについて、基礎から販売までを体系的に学び、技術の修得をめざす者

| 講座名  | 開講期間・コマ数 | 講座内容  | 受講料(見込み)               |
|------|----------|---|------------------------|
| 基礎講座 | 食品加工学    | H28年4月～7月<br>及び10月<br>週1回・全15 コマ<br>食品加工の目的や意義を知り、加工の手法や原理および食品素材の特徴を学び、貯蔵・保存の原理を習得する。また農産物別の加工方法を知り、加工実習も行う。 | 3,000 円                |
|      | 食品栄養学    | H28年4月～7月<br>週1回・全15 コマ<br>食品に含まれている栄養素を中心に食品成分の構造や機能を通して食品を理解するとともに、それらの体内での役割と健康や疾病との関係についても学ぶ。             | 3,000                  |
|      | 食品機能学    | H28年4月～6月<br>週1回・全8 コマ<br>食品や食品成分に含まれる物質の構造と機能について学び、新たな食品開発のための基礎的知識とする。                                     | 1,600                  |
|      | 食品衛生学    | H28年9月～12月<br>週1回・全15 コマ<br>食品に起因する健康被害及び微生物について、それら疾病の特徴や危害因子の特性及び防止方法の基礎的知識を学ぶ。微生物検査について実習も行う。              | 3,000                  |
| 応用講座 | 商品開発     | H28年7月<br>週1回・全8 コマ<br>地域の特産物や資源の活用方法の検討及び商品開発に必要な農産加工技術の実践と農産加工品の品質評価手法を習得する。                                | 1,600                  |
|      | 食品表示     | 決定次第ホームページなどでお知らせします(不定期)   | 基本無料<br><br>*有料になる場合あり |
|      | 特別講義     | 企業家等による講義及び研究成果等の紹介、また、パッケージやPOPデザインについて、実習を通して学ぶ。  |                        |
|      | 地域研修     | 農産加工現地調査、農業支援センターにおける各種研修会、直売所での販売体験、農産加工グループとの交流等。   |                        |

- 注1) 研修期間中の傷害保険等への加入(自己負担)が必要になります。  
2) 受講料以外に、テキスト代及び実習実費が必要になります。  
3) 1コマ90分授業とします。  
4) 講師の都合により開講期間が変更になる場合があります。

#### ●受講申込み方法

ホームページで具体的な募集のお知らせをします。  
＜単位取得の基準＞  
◎各講座60%以上出席すること。  
◎各講座の終了後にレポート(2,000字程度)を提出しなければならない。